

科目名(単元名) 看護学概論	配当時期	担当者		
	1年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 15時間	森 明広		
テーマと授業目標 ・看護の主要概念である「看護」「人間」「健康」「環境」について理解し、看護の本質を学ぶ。 看護の対象者となる人々野健康について理解し、その人を取りまく家族の状況も含めて看護について考察する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	看護の語源 ブラインドウオーク(語源)	講義
2	2	森	「聞いてください看護師さん」から看護師像を考える 看護の歴史	講義
3	2	森	看護の定義 看護覚え書き(グループワーク)	講義
4	2	森	看護の対象について	講義
5	2	森	看護覚え書き(グループワーク発表)	講義
6	2	森	第2章 看護の対象について	講義
7	2	森	看護覚え書き(グループワーク発表)	講義・演習
8	1	森	健康とは(清水 哲さんのVTR)	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(50点)		
受講上の注意		看護の対象としての人間の健康を把握し、対象がどのような看護を必要としているのか少しでもわかることができればと考えている。 看護は科学的根拠に基づいていることがわかる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学(1)		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 看護覚え書・看護の基本となるもの		現代社 日本看護協会出版		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 看護学概論		配当時期 1年次前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 15時間	担当者 遠田 友利	
テーマと授業目標 ・看護職の成立や養成制度について学ぶことができる ・看護倫理について考え、理解することができる ・看護におけるサービスやチーム医療について理解することができる ・医療事故について学ぶことができる				
	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	1	遠田	ガイダンス 第5章 看護における倫理 現代社会と倫理 日本看護協会の「看護職の倫理綱領」について	講義
2	2	遠田	看護における倫理 事例をグループワーク 過去の事例紹介	講義
3	2	遠田	第4章 職業としての看護	講義
4	2	遠田	看護職の資格 養成制度 就業状況	講義
5	2	遠田	看護職者の継続教育とキャリア開発 看護職の養成制度の課題	講義
6	2	遠田	第6章 サービスとしての看護 看護サービスの提供の場	講義
7	2	遠田	看護をめぐる制度と政策 看護サービスの管理	講義
8	2	遠田	広がる看護の活動領域	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験:(50点/100点中)		
受講上の注意		・ 事前に教科書に目を通して予習をしておいてください ・ 重要な言葉や意味をしっかりと理解して覚えていきましょう		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学(1)			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 共通基本技術論Ⅰ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(15時間) 時間数 4時間	担当者 小林 幸路	
テーマと授業目標 ・看護実践するために必要な身だしなみができる 感染成立の条件、院内感染防止の基本を知り、感染予防策が実践できる ・感染予防対策について理解し必要な手洗い、マスク着用について実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	・技術とは何か 看護技術の特徴 看護技術の発展と習得のために ・感染防止の技術 感染成立の条件・感染予防 標準予防策	講義
2	2	小林	衛生的手洗い ビニール手袋 エプロンの着脱方法	演習
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		基本的な技術から医療従事者としてのありかたを学ぶ。医療従事者として改善すべきところを意識していく		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野 基礎看護技術Ⅰ		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名:		精神看護出版		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 共通基本技術論Ⅰ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(15時間) 時間数 11時間	担当者 板東 正巳	
テーマと授業目標 ・コミュニケーションの意義と目的、構成要素と成立過程を理解する ・関係構築のためのコミュニケーションの基本を理解する ・効果的なコミュニケーションの実際を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	板東	コミュニケーションとは 看護におけるコミュニケーションとは	講義
2	2	板東	看護・医療におけるコミュニケーションの重要性 多職種とのコミュニケーション	講義
3	2	板東	コミュニケーションと信頼関係 信頼関係の築き方 対人関係論、患者看護師の関係	講義
4	2	板東	・コミュニケーション障害のある人の特徴 ・コミュニケーション障害のある人の対応 微表情についてDVD師長	講義
5	2	板東	ラポール形成とは ラポール演習 聞く方法	講義 演習
6	1	板東	パーソナルスペース・空間距離 相対角度	講義
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		基本的な技術から医療従事者としてのありかたを学ぶ。日常の自分自身のコミュニケーションの傾向を振り返り、医療従事者として改善すべきところを意識していく		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野 基礎看護技術Ⅰ		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 医療者のためのコミュニケーション入門		精神看護出版		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 共通基本技術論Ⅱ		配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 大嶋 沙佑美	
テーマと授業目標 1.ヘルスアセスメントの意義と目的を理解し、必要とされる技術を学。技術を実施できる 2.全体の観察、バイタルサインの観察、計測、系統別アセスメント、心理・社会状態のアセスメントといったヘルスアセスメントの実際について学ぶ 3.ヘルスアセスメントによって得られた結果を、実際のケアに結び付けていく態度を養う				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	大嶋	ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントについて バイタルサイン・脈拍について	講義
2	2	大嶋	血圧について	講義
3	2	大嶋	呼吸・体温について	講義
4	2	大嶋	意識について バイタルサイン測定 一連の流れについて	講義
5	2	大嶋	バイタルサイン測定演習	講義・演習
6	2	大嶋	バイタルサイン測定演習	講義・演習
7	2	大嶋	呼吸器のフィジカルアセスメント	講義
8	2	大嶋	循環器、乳房、腋窩のフィジカルアセスメント	講義
9	2	大嶋	腹部、筋・骨格系、神経系のフィジカルアセスメント	講義
10	2	大嶋	頭部と感覚器、外皮系のフィジカルアセスメント 心理社会状態のアセスメント	講義
11	4	大嶋	身体計測演習(フィジコ使用)	講義・演習
12	4	大嶋	身体計測演習(フィジコ使用)	講義・演習
13	2	大嶋	まとめ	講義
14				
評価方法		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		1) 学生便覧の「共通基本技術論Ⅱ」について確認しておくこと 2) 授業内容を自分の考えや思いにつなげること 3) 自己の学習を充実させるために個人ワークやグループワークなど、目的意識を持ち参加すること 4) 教科書・提出物の忘れ物はしないこと 5) 演習時には身だしなみを整えて忘れ物をしないこと。身だしなみが整っていない場合は演習ができず欠課になります。また、演習は講義開始時までには更衣を済ませておかないと遅刻になるので注意してください 体温計・血圧計・聴診器・秒針付き時計が必要になります		
使用図書(テキスト)		出版元		
系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 看護が見える③フィジカルアセスメント				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD)				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅰ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 小牟田 淑子	
テーマと授業目標				
活動・休息を整える援助技術を実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小牟田	基本的活動の基礎知識(構えと体位) 体位: 仰臥位・側臥位・座位・ファアラ位・腹臥位・膝胸位・碎石位・シムス位)	講義
2	2	小牟田	移動(体位変換・歩行・移乗・移送) 体位の復習 仰臥位→側臥位の体位変換(DVD)	講義
3	2	小牟田	体位変換(右→左、仰臥位→側臥位、上方へ)	講義・演習
4	2	小牟田	体位変換(仰臥位→長座位、長座位→端座位) 歩行介助	講義・演習
5	2	小牟田	仰臥位→車いす移乗 車椅子での移送(デモスト)	講義・演習
6	2	小牟田	仰臥位→車いす移乗(演習) 足浴 休息と睡眠 レム睡眠とノンレム睡眠 睡眠を促すケア	講義・演習
7	2	小牟田	杖歩行の介助	講義・演習
8	2	小牟田	ストレッチャー移送・移乗 ベッドからベッドへの移乗 留意点についてワーク	講義・演習
9	2	小牟田	ベッドからベッドへの移乗 ストレッチャー移送 左麻痺のある患者の車いす移乗	講義・演習
10	2	小牟田	左麻痺のある患者への移乗 (動画視聴) 演習の振り返り ポジショニング	講義
11	2	小牟田	活動小テスト	講義・試験
12	2	小牟田	自動運転・他動運動の援助 足浴の演習方法について	講義
13	2	小牟田	温罨法・冷罨法	講義・演習
14	2	小牟田	足浴の演習(車いす座位で)	講義・演習
15	2	小牟田	ポジショニング(仰臥位から側臥位 仰臥位からファアラ位)	講義・演習
評価方法		筆記試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		1) 授業内容を自分の考えや思いにつなげること 2) 自己の学習を充実させるために個人ワークやグループワークなど 目的意識を持ち、参加すること 3) 教科書・提出物の忘れ物はしないこと 4) 演習時に身だしなみがととのっていない場合や忘れ物がある場合など、欠課になることがあるので注意してください		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護講座 専門分野Ⅰ 看護技術Ⅱ 基礎看護学③			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: 看護が見える①基礎看護技術			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD)				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅱ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 小林 幸路	
テーマと授業目標				
・療養環境について理解し、その調整の技術を理解することができる ・対象者の安全・安楽・自立を考慮した環境調整について理解できる ・ベッドメイキングの基本技術を理解し、実施することができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	ガイダンス 看護技術の根底をなすもの	講義
2	2	小林	第1章 環境調整技術	講義
3	2	小林	ベッドメイキング リネン交換 (DVD視聴)	講義
4	2	小林	ベッド及びベッド周囲の説明 シーツのたたみ方 (演習)	講義・演習
5	2	小林	マットレスパッド・下シーツ作成演習	講義・演習
6	2	小林	マットレスパッド・下シーツ・枕カバーまで作成演習	講義・演習
7	2	小林	臨床患者のリネン交換・手順書作成	講義
8	2	小林	手順書を見ながら臥床患者のリネン交換	講義・演習
9	2	小林	臥床患者のシーツ交換	講義・演習
10	2	小林	臥床患者のシーツ交換	講義・演習
11	2	小林	環境整備について 技術試験のオリエンテーション	講義
12	2	小林	環境整備	演習
13	2	小林	ベッドメイキング 演習	講義・演習
14	2	小林	臥床患者のシーツ交換 (技術試験)	試験
15	2	小林	臥床患者のシーツ交換 (技術試験)	講義
評価方法		筆記試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		1. 忘れ物のないように(授業プリント、教本、副読本) 2. 予習を行い効果的に授業を受けること 3. 演習では身だしなみを整えること 4. 演習開始時間に、身だしなみが整っていない場合は遅刻・欠席扱いとします 5. 実習室では私語を慎むこと 6. 自主的に技術練習すること 7. 講義演習には積極的に参加すること		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 看護覚え書 F, ナイチンゲール		現代社		
看護が見えるVol.1基礎看護技術		MEDICMEDIA		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他 (DVD)				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅲ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 藪本 喜代	
テーマと授業目標 1.皮膚・粘膜の構造と機能を知り、清潔援助の効果と全身への影響を理解する 2.清潔援助の方法選択の視点を理解し、それぞれの清潔援助の基礎知識と実際に学ぶ 3.衣生活の基本的知識を理解し、援助の実際と寝衣交換の手順を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藪本	清潔の援助 衣生活の援助の基礎知識	講義
2	2	藪本	全身清拭の実施(DVD視聴)モデル人形使用(タオル、ウォッシュクロス の絞り方、持ち方、顔・耳の拭き方)	講義・演習
3	2	藪本	全身清拭の実施(上肢・胸部、腹部の拭き方)モデル人形使用	講義・演習
4	2	藪本	入浴・シャワー浴 寝衣交換	講義・演習
5	2	藪本	全身清拭の実施 モデル人形使用(下肢・腰背部・臀部の拭き方)	講義・演習
6	4	藪本	全身清拭・寝衣交換デモスト 洗髪デモスト	講義・演習
7	4	藪本	全身清拭・洗髪の実施(学生同士で) 洗髪DVD視聴	講義・演習
8	2	藪本	全身清拭・洗髪の実施(学生同士で)	講義・演習
9	2	藪本	口腔ケア・その他整容(洗面・髭剃り・整髪) 陰部洗浄	講義
10	4	藪本	全身清拭・洗髪の実施(学生同士で)	講義・演習
11	4	藪本	全身清拭 技術試験	試験
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験60点 技術試験40点		
受講上の注意		1.忘れ物をしないようにすること 2.予習を行い、効果的に授業を受ける 3.演習では身だしなみを整える 4.演習開始時間に、身だしなみが整っていない場合は、遅 刻・欠課とする5.演習室は私語を慎むこと6.自主的に技術練習すること		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:系統看護学講座 専門分野Ⅰ		医学書院		
看護技術Ⅱ 基礎看護学③				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名		^		
看護が見えるVol1 基礎看護技術		MEDIC MEDIA		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他(DVD				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅳ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 時間数 30時間	担当者 大嶋 沙佑美	
テーマと授業目標 人にとって食・排泄の援助ができる基礎的知識・技術を身につける				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	大嶋	食事援助の基礎知識 摂食嚥下のアセスメント	講義
2	2	大嶋	摂食行動のアセスメント、食生活 医療施設で提供される食事の種類	講義
3	2	大嶋	非経口的栄養摂取の援助	講義
4	2	大嶋	摂食・嚥下訓練	講義
5	2	大嶋	食事介助の実際	講義・演習
6	2	大嶋	食事介助の実際	講義・演習
7	2	大嶋	食事援助について	講義
8	2	大嶋	自然排尿および自然排便の介助	講義
9	2	大嶋	一時的導尿・持続的導尿	講義
10	2	大嶋	排便を促す援助の基礎知識 浣腸・摘便	講義
11	2	大嶋	症状排泄援助・おむつ交換	講義
12	2	大嶋	陰部洗浄・おむつ交換の練習	演習
13	2	大嶋	陰部洗浄・おむつ交換の練習	演習
14	2	大嶋	ストーマケア	演習
15	2	大嶋	まとめ	演習
評価方法		筆記試験60点 技術試験40点		
受講上の注意		・事前に講義内容を理解し、演習に臨むこと・レポート課題の提出期限を順守すること ・身だしなみが整っていない場合は、演習に参加できません・演習は講義開始時間までに更衣を済ませておかないと遅刻になります		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 看護が見える① 基礎看護技術 看護が見える② 臨床看護技術			出版元 医学書院 医療情報科学研究所 医療情報科学研究所	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 診療補助技術論		配当時期 2年次前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14時間	担当者 小林 幸路	
テーマと授業目標 1.感染防止の技術について知る 2.安全確保の技術が解かる 3.与薬の技術がわかる 4.上記の技術を統合し、採血の技術を実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	第3章 安全確保の技術	講義
2	2	小林	第12章 診察・検査・処置における技術	講義
3	2	小林	穿刺(胸腔・腹腔・腰椎・骨髄穿刺)	講義
4	2	小林	第11章 症状、生体機能管理技術 A, 症状、生体機能管理の基礎知識 B, 検体検査 C, 生体情報のモニタリング	講義
5	2	小林	C, 生体情報のモニタリング (心電図の演習)	講義・演習
6	2	小林	第9章 与薬の技術 A, 与薬の基礎知識	講義
7	2	小林	B, 経口与薬 C, 吸入 D, 点眼 E, 点鼻	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		・採血の技術は滅菌などの正しい知識、正しい与薬などの講義の知識の上に成り立っています ・静脈採血は演習を伴います。また技術チェックを行います ・技術点のうち、60%を満たしていない場合は点数が合格するまで技術の再チェックをします		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学②③ 参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 看護が見えるVOL.2			出版元 医学書院 出版元 MEDIC MEDIA	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 診療補助技術論		配当時期 2年次前期 単位数 1 単位(30時間) 時間数 16時間	担当者 板東 正巳	
テーマと授業目標 1.感染防止の技術について知る 2.安全確保の技術が解かる 3.与薬の技術がわかる 4.上記の技術を統合し、採血の技術を実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	板東	H、注射 第2章 感染防止の技術G、針刺し防止策 H、医療施設における感染管理	講義
2	2	板東	H、注射 (点滴静脈注射 静脈内注射)	講義
3	2	板東	H、注射 (皮下、皮内、筋肉注射)	講義
4	2	板東	検体検査 (静脈血) 血液検査について	講義
5	2	板東	注射器の使い方 駆血帯の巻き方	講義・演習
6	2	板東	静脈血採血の演習	講義・演習
7	2	板東	技術試験	試験
8	2	板東	技術試験	試験
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		・採血の技術は滅菌などの正しい知識、正しい与薬などの講義の知識の上に成り立っています ・静脈採血は演習を伴います。また技術チェックを行います ・技術点のうち、60%を満たしていない場合は点数が合格するまで技術の再チェックをします		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学②③			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 看護が見えるVOL.2			出版元 MEDIC MEDIA	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 臨床看護総論Ⅰ		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間	担当者 森脇 真紀 小牟田 淑子	
テーマと授業目標 ・各ライフサイクルの理解と看護がわかる ・生活と療養の場における対象者と家族の看護について理解できる ・各経過別における対象者・家族の特徴と看護について理解できる ・健康障害を持つ対象を理解し主要症状別看護を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森脇	ガイダンス (授業全体の流れの説明・ルール決め)	講義
2	2	森脇	息がしんどい	個人 グループワーク
3	2	森脇	むくみがひどい	個人 グループワーク
4	2	森脇	食べれない・食べにくい	個人 グループワーク
5	2	森脇	おしっこが出ない・出にくい	個人 グループワーク
6	2	森脇	ウンチが出ない・でにくい	個人 グループワーク
7	2	森脇	歩けない・動けない	個人 グループワーク
8	2	森脇	話せない・聞こえない・見えない・コミュニケーションができない	個人 グループワーク
9	2	森脇	痛みが強い	個人 グループワーク
10	2	森脇	まとめ	講義
11	2	小牟田	家族機能からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ	講義
12	2	小牟田	ライフサイクルからとらえた対象者と家族の健康上のニーズ 生活と療養の場からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ	講義
13	2	小牟田	健康状態と看護 健康の維持増進を目指す看護 急性期における看護	講義
14	2	小牟田	慢性期における看護	講義
15	2	小牟田	リハビリテーション期における看護 終末期における看護	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		・テキストは忘れないようにしましょう		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 臨床看護総論Ⅱ		配当時期 2年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 山上富子・佐藤美香 馬場友子・近藤龍一 新谷桂子・今中悦子 小倉昌和・藤澤一郎 高瀬真也	
テーマと授業目標 ・外科的治療を受ける対象者への看護について理解できる ・放射線治療を受ける対象者への看護について理解できる ・輸血・化学療法を受ける対象者への看護について理解できる ・救急時における患者の看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	山上	救急対応の考え方 急変時における初期対応の流れ 院内トリアージと災害トリアージ	講義
2	2	山上	成人・小児心肺蘇生法と基礎知識について 出血の種類と止血の手順 院内急変の対応について	講義
3	2	佐藤	創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護	講義
4	2	佐藤	創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護 褥瘡ケア 熱傷ケア	講義
5	2	馬場	呼吸障害 患者の看護 気管吸引について	講義
6	2	馬場	集中治療の特性について 集中治療室の看護	講義
7	2	近藤	手術療法	講義
8	2	近藤	術中看護 (麻酔 術前 術中)	講義
9	2	新谷	放射線治療における看護	講義
10	2	今中	身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者の看護	講義
11	2	小倉	放射線治療	講義
12	2	藤澤	画像診断 IVR 概説	講義
13	2	藤澤	画像診断 IVR 概説	講義
14	2	高瀬	医療機器の原理と実際	講義
15	2	高瀬	医療機器の原理と実際	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		テキストでの事前学習		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD)				

科目名(単元名) 看護過程展開技術論		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 6時間	担当者 遠田 有利	
テーマと授業目標 Ⅰ.看護過程を構成する要素と、そのプロセス、また看護過程を用いることの意義を理解できる Ⅱ.問題解決過程やクリティカル・シンキング、リフレクション、倫理的判断といった看護過程の基盤となる考え方を理解する Ⅲ.対象者の意思決定や治療への主体的な参画を支援する学習支援の特徴を理解できる Ⅳ.事例を用いて看護過程の展開を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	遠田	看護過程の展開の技術 1	講義
2	2	遠田	看護過程の展開の技術 2	講義
3	2	遠田	看護過程の展開の技術 3	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		合計 100点
受講上の注意 ・ A4サイズの紙ファイルを準備してください ・ 課題学習が多くなりますので、提示された課題は必ず学習してください ・ 提示された課題の提出期限は守ってください。遅れた場合は減点になります ・ 実習につなげられるようにしっかり理解し、学んでいきましょう。				
使用図書 (テキスト)			出版元	
図書名：専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②			医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名： 看護が見える④ 看護過程				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 (グループワークとなることがあります)				

科目名(単元名) 看護過程展開技術論		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 2 4 時間	担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標 Ⅰ.看護過程を構成する要素と、そのプロセス、また看護過程を用いることの意義を理解できる Ⅱ.問題解決過程やクリティカル・シンキング、リフレクション、倫理的判断といった看護過程の基盤となる考え方を理解する Ⅲ.対象者の意思決定や治療への主体的な参画を支援する学習支援の特徴を理解できる Ⅳ.事例を用いて看護過程の展開を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	共同問題・看護診断について1	講義
2	2	俵内	共同問題・看護診断について2	講義 グループワーク
3	2	俵内	ゴードンの枠組みについて1	講義
4	2	俵内	ゴードンの枠組みについて2	講義 グループワーク
5	2	俵内	看護過程 ①アセスメント 情報収集 情報の分析	講義
6	2	俵内	看護過程 ①アセスメント 情報収集 情報の分析	講義 グループワーク
7	2	俵内	看護過程 ②問題の明確化	講義
8	2	俵内	看護過程 ②問題の明確化	講義 グループワーク
9	2	俵内	看護過程 ③計画立案	講義 グループワーク
10	2	俵内	看護過程 ③計画立案	講義 グループワーク
11	2	俵内	看護過程 ④実施 ⑤評価	講義 グループワーク
12	2	俵内	看護過程 看護要約 (サマリー)	講義
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		合計 100点
受講上の注意 ・ A4サイズの紙ファイルを準備してください ・ 課題学習が多くなりますので、提示された課題は必ず学習してください ・ 提示された課題の提出期限は守ってください。遅れた場合は減点になります ・ 実習につなげられるようにしっかり理解し、学んでいきましょう。				
使用図書 (テキスト)			出版元	
図書名：専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②			医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名： 看護が見える④ 看護過程				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 (グループワークとなることがあります)				

科目名(单元名) 地域・在宅看護総論		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (3 0 時間) 時間数 15時間	担当者 長井 理治	
テーマと授業目標 1.訪問看護の対象者とその家族を理解し、在宅看護を学ぶ 2.訪問看護を取り巻く制度や社資源を理解する 3.訪問看護師の役割とこれから求められることについて理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	長井	在宅看護の目的と特徴	講義
2	2	長井	在宅看護の目的と特性 社会資源の活用	講義
3	2	長井	社会資源の活用 継続看護	講義
4	2	長井	継続看護 多職種連携	講義
5	2	長井	多職種連携 海外の訪問看護のちから	講義
6	2	長井	訪問看護の実際	講義
7	2	長井	精神疾患と訪問看護	講義
8	1	長井	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		分からなければ質問をどんどんしてください		
使用図書(テキスト) 図書名:			出版元	
地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護の実践			医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ (ビデオ) ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 地域・在宅看護総論		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (3 0 時間) 時間数 15時間	担当者 森 由紀	
テーマと授業目標				
在宅における医療保健福祉制度、多職種と協働することや 対象者の生活を支える活動を理解する				
授業回数	時間	講師	スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	地域・在宅看護における看護過程①	講義
2	2	森	地域・在宅看護における看護過程の展開方法②	講義
3	2	森	地域・在宅看護における看護過程の展開方法 地域・在宅看護における時間別の看護	講義
4	2	森	地域・在宅看護における時期別看護 地域在宅看護の事例展開	講義
5	2	森	地域在宅看護の事例展開 脳卒中の療養者	講義
6	2	森	地域在宅看護の事例展開 ALS	講義
7	2	森	地域在宅看護における多職種連携 地域・在宅看護活動の創造と展開例	講義
8	1	森	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意				
使用図書（テキスト） 図書名： 地域・在宅看護の基盤			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ (ビデオ) ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 地域・在宅看護 基本技術論Ⅰ		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標 1. 接遇マナーの基本を理解し実践できる。 2. 病棟・病棟外・訪問での接遇のマナーの基本について理解し実践できる。 3. 個人情報の取り扱いを理解し守ることができる。 4. 日常生活の衣・食・住に必要な基本的知識と技術について習得する。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	ガイダンス 接遇マナーとは 接遇の基本	講義
2	2	俵内	敬語の使い方 病院・病棟でのマナー	講義
3	2	俵内	個人情報の取り扱い SNSについて	講義
4	2	俵内	病院と在宅の看護について	講義
5	2	俵内	在宅療法者の情報収集 ACPIについて	講義
6	1	俵内	訪問時のマナーについて	講義
7	2	俵内	訪問時の技術試験	試験
8	2	俵内	技術試験	試験
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(60点) 技術試験(40点) 20点×2回		
受講上の注意		事前に予習をしておいてください		
使用図書(テキスト) 図書名: 事例から学ぶ 地域・在宅看護論 訪問時のお作法から実習のポイントまで 看護の現場ですぐに役に立つ 患者接遇のキホン せいかつの図鑑				出版元 医学書院 秀和システム 小学館
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 地域・在宅看護 基本技術論Ⅱ		配当時期	2年後期	担当者 宮本 真弓 加木 弘美
		単位数	1単位	
		時間数	15時間	
テーマと授業目標 基礎看護技術を統合し、生活の場で対象に必要な看護を実践するための知識・技術・態度について学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	宮本	地域における暮らしを支える看護実践 療養環境調整に関する地域・在宅看護技術	講義
2	2	宮本	食生活・嚥下に関する地域・在宅看護技術	講義
3	2	宮本	排泄に関する地域・在宅看護技術看護技術	講義
4	2	宮本	清潔・衣生活に関する地域・在宅看護技術 与薬に関する地域・在宅看護技術	講義
5	2	加木	呼吸・循環に関する地域・在宅看護技術	講義
6	2	加木	創傷管理に関する地域・在宅看護技術	講義
7	2	加木	地域・在宅看護における安全を守る看護	講義
8	1	加木	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		対症別看護については時間枠があまりとれず詳しい説明できないことが残念です。国家試験には状況設定別問題として出題されています。大事なところのポイントを絞って講義しますので、よく聞いていただきたいです。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:				
新版 在宅看護論 木下由美子編著		医歯薬出版		
訪問看護と介護の雑誌				
訪問看護研修ステップⅡ(対象別看護 難病 終末期 認知症 小児慢性疾患)				
在宅看護技術 その手順と教育支援				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他 ()				

科目名(単元名) 地域・在宅看護 基本技術論Ⅲ		配当時期 3年前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 船越 富貴恵	
テーマと授業目標 1. 保健・医療・福祉チームにおける看護師および多職種の役割について理解する。 2. 多職種と連携しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供する必要性を理解する。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	船越	多職種連携とは 多職種連携の必要性	講義
2	2	船越	様々な会議、連携方法	講義
3	2	船越	各職種の機能と役割(ケアマネージャー)	講義
4	2	船越	各職種の機能と役割(リハビリ)	講義
5	2	船越	各職種の機能と役割(薬剤師)	講義
6	2	船越	各職種の機能と役割(管理栄養士)	講義
7	2	船越	各職種の機能と役割(介護福祉士)	講義
8	2	船越	各職種の機能と役割(相談員)	講義
9	2	船越	事例の把握	グループワーク
10	2	船越	退院に向けて必要な職種およびサービスについて考える	グループワーク
11	2	船越	役割設定と準備	グループワーク
12	2	船越	役割設定と準備	グループワーク
13	2	船越	サービス担当者会議のロールプレイング	演習
14	2	船越		演習
15	2	船越	振り返り、まとめ	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 実践 多職種連携教育 看護師のための多職種連携攻略本		中外医学社 (株)CBR		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 家族看護学	配当時期	2年後期		担当者 船越 富貴江
	単位数	1単位		
	時間数	30時間		
テーマと授業目標				
・家族の持つ機能を理解し、家族全体を視野に入れた関りについて理解する。 ・基本的には家族理論を理解することで、家族に働きかけて、問題解決を図っていく技法について学ぶ ・家族のセルフケア能力を高める看護介入について理解できる ・各期の(小児期、急性期、終末期、高齢患者、精神疾患患者)家族看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	船越	家族看護とは 告知	講義
2	2	船越	家族看護過程の展開 脊髄損傷 急性期支援	講義
3	2	船越	家族看護 パーキンソン病	講義
4	2	船越	家族看護の実際 パーキンソン病(グループワーク)	講義・演習
5	2	船越	家族看護の実際 認知症 進行胃がん 看取り	講義
6	2	船越	家族看護の実際 在宅看取り、在宅医療とは	講義
7	2	船越	家族看護まとめ 災害、在宅医療、看護とは	講義
8	2	船越	家族全体を対象とした看護の必要性	講義
9	2	船越	家族をシステムとしてとらえた支援 より家族看護が必要となりうる時	講義
10	2	船越	家族構造 形態の変遷に伴う看護	講義
11	2	船越	家族と家族外を可視化し情報収集	講義
12	2	船越	家族看護機能を高める支援・理論	講義
13	2	船越	家族看護展開 家族看護と地域連携を学ぶ	講義
14	2	船越	事例から学ぶ家族看護①	講義
15	2	船越	事例から学ぶ家族看護②	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		・教科書を事前に読んで授業に臨みましょう ・日頃から家族に関するニュースなどにも関心を持ち、 家族をとりまく社会の理解に努めましょう。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 家族看護学		医学書院		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD				

科目名(单元名) 地域・在宅看護特論		配当時期 2年後期 単位数 1単位(15時間) 時間数 15時間	担当者 藪本 喜代		
テーマと授業目標 在宅で療養している対象者の事例を通して、在宅での看護過程の展開が実施できる用学習する					
授業回数	時間	講師	スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	藪本	ガイダンス 事例紹介 グループワーク		講義
2	2	藪本	情報の分類(情報用紙No. 1～No. 4)		講義
3	2	藪本	情報の分類(情報用紙No. 1～No. 4) 健康状態のまとめ分析(グループワーク)		講義 グループワーク
4	2	藪本	健康状態のまとめの発表 日常生活グループワーク		講義 グループワーク
5	2	藪本	日常生活の分析発表 精神状態の分析		講義
6	2	藪本	精神状態・家族・介護者の介護態力 社会資源についてグループワーク		講義
7	1	藪本	社会資源について発表 日々の目標について		講義
8	2	藪本	看護計画の立案 グループワーク		講義 グループワーク
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験(100点)			
受講上の注意		・レポートの提出期限は遵守してください ・授業で配布した資料や記録用紙を閉じておくための紙ファイル(A4サイズ2穴)を準備し、すべてファイリングして毎時間持参してください ・技術試験に関しては、その技術点の60%を満たすまで技術チェックを受けること			
使用図書(テキスト)		出版元			
図書名: 系統看護学講座 統合 在宅看護論		医学書院			
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元			
図書名: よくわかる在宅看護論改訂第2版 角田直枝 学研		メジカルフレンド社			
関連図で理解する 在宅看護過程 正野 逸子ら					
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ					
その他()					

科目名(単元名) 成人看護学総論		配当時期	1年後期	担当者 船越 富貴恵
		単位数	1 単位	
		時間数	30時間	
テーマと授業目標				
1.成人看護学における基盤となる考え方や理論、方法論を理解する				
2.大人の生活や健康に関する最新の動向をキャッチし時代を生きる大人の健康を多角的にとらえる視点を持つ				
3.大人の多様な健康状態や健康問題に対応するための看護アプローチの基本的な考え方や方法を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	船越	成人とは 対象理解・生活	講義 グループワーク
2	2	船越	成人を取り巻く動向	講義 グループワーク
3	2	船越	成人への看護アプローチの基本	講義 グループワーク
4	2	船越	ヘルスプロモーション 健康を脅かす要因	講義 グループワーク
5	2	船越	健康をおびやかす要因 健康の急激な破綻	講義 グループワーク
6	2	船越	症状マネジメントにおける看護技術を理解できる 看護実践モデル 看護アプローチ	講義 グループワーク
7	2	船越	急性期医療 慢性期医療	講義 グループワーク
8	2	船越	慢性期医療 リハビリテーション	講義 グループワーク
9	2	船越	第4章 ヘルスプロモーション	講義 グループワーク
10	2	船越	第5章 健康をおびやかす要因と看護	講義 グループワーク
11	2	船越	第6章 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護	講義 グループワーク
12	2	船越	第7章 慢性病とともに生きる人を支える看護	講義 グループワーク
13	2	船越	第8章 障害がある人の生活とリハビリテーション	講義 グループワーク
14	2	船越	第10章 様々な健康レベルにある人の継続的な移行支援	講義 グループワーク
15	2	船越	第11章 新たな治療法 先端医療と看護	講義 グループワーク
評価方法			筆記試験(100点)	
受講上の注意			1) 授業内容を自分の考え・思いを置き、しっかり学習につなげてください 2) 授業時間内で自己の学習を充実させるために個人ワーク・グループワークにしっかり取り組んでください 3) テキスト、提出物の忘れものをしないこと	
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ			医学書院	
成人看護学総論 成人看護学①				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ			医学書院	
別巻 緩和ケア				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8 時間	担当者 中嶋 千恵子	
テーマと授業目標 内分泌・代謝疾患患者の持つ身体的特徴・心理・社会的特徴を知り、 具体的な援助方法や看護展開について学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中嶋	内分泌・代謝疾患患者の特徴と看護の役割 内分泌・代謝器官の構造と機能について	講義
2	2	中嶋	内分泌疾患の理解と患者の看護	講義
3	2	中嶋	代謝疾患の理解と患者の看護	講義
4	2	中嶋	内分泌疾患の理解と患者の看護 (まとめ)	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		内分泌代謝疾患の病態生理・検査・治療について復習しておいてください		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 図書名			出版元 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (DVD)				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 4時間	担当者 船元 奈央	
テーマと授業目標 血液・造血器疾患患者の特徴と治療を理解し、治療管理を含む 長期的な治療への専門的支援がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	船元	血液・造血器疾患を持つ患者の特徴 がん薬物療法看護	講義
2	2	船元	造血器腫瘍患者の看護 がん薬物療法と看護	講義
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		血液・造血器疾患と治療の理解		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学⑪			出版元 医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 12時間	担当者 福田 都美恵	
テーマと授業目標				
血液・造血器疾患患者の特徴と治療を理解し、治療管理を含む長期的な治療への専門支援がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	血液の生理と造血の仕組み 貧血の種類と治療 輸血療法について	講義
2	2	福田	抗がん剤治療を受ける患者の看護 (CVポート・CVと末梢点滴の違い 骨髄抑制時の看護)	講義
3	2	福田	悪性リンパ腫 (DLBCL) の看護 R-CHOP療法とは	講義
4	2	福田	悪性リンパ腫 (DLBCL) 患者がR-CHOP療法を受ける場合のCP 分析	講義・演習
5	2	福田	グループワーク R-CHOP療法を受ける患者のND分析 CP分析方法	講義・演習
6	2	福田	グループ単位での発表 多発性骨髄腫の患者の看護	講義・演習
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (40点/100点中)		
受講上の注意		1) 授業内容を自分の考えや思いにつなげること 2) 自己の学習を充実させるために個人ワークやグループワークなど 目的意識を持ち、参加すること 3) 教科書・提出物の忘れ物はしないこと		
使用図書 (テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学⑪			出版元 医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 6時間	担当者 大嶋 沙由美	
テーマと授業目標 ①アレルギー疾患患者の身体的特徴と心理・社会的特徴を考慮した支援の重要性を理解する ②膠原病と膠原病類縁疾患に関する医療の動向と看護の概要をb理解する ③感染症患者の特徴やリスク、心理・社会的な問題を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	大嶋	アレルギー疾患患者の看護 （診察・検査・治療）	講義
2	2	大嶋	膠原病患者の看護 （診察・検査・治療）	講義
3	2	大嶋	まとめ	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（20点／100点）		
受講上の注意		国家試験に出題された問題を参考にしながら要点を押さえていきます 各質感患者尾地区長を理解し、必要な看護を確実に覚えましょう。		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学⑪			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 16時間	担当者 栗原　みな子	
テーマと授業目標 1.呼吸器疾患(肺炎、気管支喘息、肺結核、慢性閉塞性肺疾患、肺血栓塞栓)の看護が理解できる 2.症状に対する看護が理解できる 3.呼吸器治療の看護過程を展開することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	栗原	呼吸器疾患の患者の特徴 肺炎患者のアセスメント、症状に対する看護	講義
2	2	栗原	気管支喘息、肺塞栓症患者のアセスメント 症状に対する看護	講義
3	2	栗原	慢性閉塞性肺疾患の看護過程	講義
4	2	栗原	事例に基づいた呼吸器疾患患者の看護 肺がん：初診から診断まで	講義・演習
5	2	栗原	肺がん：診断から治療(術前看護)	講義・演習
6	2	栗原	肺がん：診断から治療(術後急性期の看護)	講義・演習
7	2	栗原	肺がん：診断から治療(術後回復期の看護)	講義・演習
8	2	栗原	肺がん：診断から治療(退院に向けての看護)	講義・演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座　専門分野Ⅱ 呼吸器　成人看護学② 図書名 出版元 医学書院				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント)　・OHP　・ビデオ　・スライド・CD　・カセットテープ その他(フィジカルアセスメントの授業時は聴診器を使用)				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14時間	担当者 小林 幸路	
テーマと授業目標 1)循環器疾患を持つ対象の経過別看護を理解できる 2)循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護が理解できる 3)検査・治療を受ける循環器疾患を持つ対象への看護が理解できる 4)事例を通し疾患の理解と看護を考えることが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	第1章 循環器の看護を学ぶにあたって 第2章 循環器の構造と機能	講義
2	2	小林	第6章 患者の看護 疾患を持つ患者の経過と看護 症状に対する看護	講義
3	2	小林	検査を受ける患者の看護 症状に対する看護	講義
4	2	小林	疾患を持つ患者の看護 虚血性心疾患患者の看護	講義
5	2	小林	心不全について 事例 CP分析に向けて	講義
6	2	小林	心不全について 事例 CP分析	講義
7	2	小林	CP発表 セルフマネジメント ND分析について 練習問題	講義 グループワーク
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 4 5 点		
受講上の注意		積極的に参加し自己で考えましょう 提出物の期限を守りましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③		医学書院		
図書名				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅲ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 15時間	担当者 神野 佳穂理	
テーマと授業目標 周手術期にある患者を身体・心理・社会的側面から全人的にとらえ 患者のニーズに沿った看護を理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	神野	周術期について 術前・術後ケアについて	講義
2	2	神野	周術期について 術前検査について	講義
3	2	神野	疾患別 胃がん・食道がんについて	講義
4	2	神野	疾患別 その他について	講義
5	2	神野	ストマについて (疾患・ケア)	講義
6	2	神野	化学療法について	講義
7	2	神野	看護過程について	講義
8	1	神野	国家試験 過去問から練習問題	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (50点／100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト)			出版元	
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 別巻 臨床外科看護各論				
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅲ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8 時間	担当者 中島 早弥香	
テーマと授業目標 1) 消化器疾患患者の経過の特徴看護について理解できる 2) 消化器疾患患者に多く見られる症状の病態生理を踏まえ、症状に対する看護を理解できる 3) 消化器疾患をもつ患者の看護について理解できる 4) 消化器疾患を持つ患者の看護過程を展開できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中島	消化器疾患患者の看護 医療の動向 特徴と看護の役割 経過別看護 消化器疾患に多くみられる症状に対する看護 (嚥下困難、嘔気、嘔吐)	講義
2	2	中島	消化器疾患に多くみられる症状に対する看護 (腹痛 吐下血 下痢 便秘) 薬物療法を受ける患者の看護 内視鏡を受ける患者の看護 栄養、食事療法	講義
3	2	中島	消化器疾患患者の看護 腸・腹膜疾患患者の看護 肝機能・胆のう疾患患者の看護	講義
4	2	中島	消化器疾患患者の看護 肝がん患者の看護 肝硬変患者の看護 急性・慢性膵炎患者の看護	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (50点／100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 出版元 成人看護学5 消化器 医学書院 図書名 使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				



科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅲ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 7時間	担当者 古野 智子	
テーマと授業目標 1) 消化器疾患患者の経過の特徴看護について理解できる 2) 消化器疾患患者に多く見られる症状の病態生理を踏まえ、症状に対する看護を理解できる 3) 消化器疾患をもつ患者の看護について理解できる 4) 消化器疾患を持つ患者の看護過程を展開できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	古野	消化器疾患患者の経過と看護 胃食道逆流症 胃十二指腸疾患患者の看護 胃癌患者の看護	講義
2	2	古野	消化器疾患患者の看護 看護過程の評価	講義
3	2	古野	消化器疾患患者の看護 看護過程の評価	講義
4	1	古野	消化器疾患患者の看護 看護過程の評価	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (50点／100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 出版元 医学書院 図書名 使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				



科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 6時間	担当者 伊藤 ひとみ	
テーマと授業目標 1.運動器の働きを知り、運動器に障害を持つ患者の特徴を理解する。 2.運動器に障害を持つ患者に対する看護の役割を理解し、援助に必要な知識と技術をまなぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	伊藤	背部解剖及び中枢神経の特性 脊柱管の解剖生理・神経支配	講義
2	2	伊藤	脊髄損傷患者の看護	講義
3	2	伊藤	脊髄損傷患者の看護(看護展開)	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(35点／100点)		
受講上の注意		・ 資料は講義時に配布 ・ 配布資料は毎回持参		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 成人看護学⑩			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(演習では松葉杖、車いすなどを使用する)				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 6時間	担当者 中谷 悦子	
テーマと授業目標				
1.運動器の働きを知り、運動器に障害を持つ患者の特徴を理解する。 2.運動器に障害を持つ患者に対する看護の役割を理解し、援助に必要な知識と技術をまなぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中谷	医療の動向と看護 症状とその看護 せん妄について	講義
2	2	中谷	大腿骨近位部骨折	講義
3	2	中谷	大腿骨近位部骨折(看護展開)	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(35点/100点)		
受講上の注意		・ 資料は講義時に配布 ・ 配布資料は毎回持参		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 成人看護学⑩			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(演習では松葉杖、車いすなどを使用する)				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 6時間	担当者 大嶋 沙佑美		
テーマと授業目標 1.運動器の働きを知り、運動器に障害を持つ患者の特徴を理解する。 2.運動器に障害を持つ患者に対する看護の役割を理解し、援助に必要な知識と技術をまなぶ					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	大嶋	運動器疾患と看護 国家試験過去問題		講義
2	2	大嶋	運動器疾患と看護 国家試験過去問題		講義
3	2	大嶋	運動器疾患と看護 国家試験過去問題		講義
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験 (12点／100点)			
受講上の注意		・ 資料は講義時に配布 ・ 配布資料は毎回持参			
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 成人看護学⑩			出版元 医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 病気が見える6 免疫・膠原病・感染症			出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (演習では松葉杖、車いすなどを使用する)					

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 4時間	担当者 宮本 麻侑子	
テーマと授業目標 脳神経外科看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	宮本	医療の動向と看護 主な症状と検査 疾患別看護	講義
2	2	宮本	疾患別看護	講義
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (41点／100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳神経			出版元 医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8 時間	担当者 栗原　みな子	
テーマと授業目標 脳神経疾患患者の特徴と治療を理解し、治療管理をふうむ長期的な治療への専門支援がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	栗原	脳神経の病態生理　脳血管　脳部位別の働き 脳疾患画像の読み取り	講義
2	2	栗原	認知症患者の看護（中核症状　周辺症状） 下垂体腺腫摘出術を受ける患者の看護	講義
3	2	栗原	パーキンソン病患者の看護 ALS患者の看護	講義
4	2	栗原	髄膜炎患者の看護	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（12点／100点）		
受講上の注意		授業内容を自分の考えや思いにつなげること 教科書、提出物の忘れ物はしないこと		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座　専門分野Ⅱ 脳神経　成人看護学Ⅳ			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント）　・ OHP　・ ビデオ　・　スライド　　・ CD　・ カセットテープ その他（				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅴ	配当時期	担当者		
	2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 12時間	福田 都美恵		
テーマと授業目標				
・腎・泌尿器疾患患者の特徴が理解できる・内科的治療と外科的治療の看護が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	泌尿器系解剖 生理	講義
2	2	福田	腎・泌尿器科の検査(新鮮尿、中間尿、24時間尿) IVP・膀胱鏡の看護 膀胱疾患患者の看護(膀胱がん 膀胱炎)	講義
3	2	福田	前立腺の解剖、前立腺炎患者の看護 前立腺肥大患者の看護 前立腺がん患者の看護	講義
4	2	福田	腎臓の解剖・腎盂腎炎患者の看護 腎がん・結石の患者の看護・腎生検時の看護	講義
5	4	福田	腎・泌尿器科疾患の放射線療法の看護	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅴ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 4時間	担当者 柳 和也	
テーマと授業目標 ・腎・泌尿器疾患患者の特徴が理解できる・内科的治療と外科的治療の看護が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	柳	内科的治療を受ける患者の看護(急性期・慢性腎不全)	講義
2	2	柳	内科的治療を受ける患者の看護(血液透析・腹膜透析)	講義
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧			出版元 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅴ		配当時期 2 年後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8 時間	担当者 中嶋 千恵子	
テーマと授業目標				
・女性生殖器疾患の必要な援助を理解する ・他の疾患との関連性を理解し、身体的・精神的・社会的に多方面に必要な援助を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中嶋	女性生殖器疾患の理解 患者の特徴 看護の役割 診療解除における看護	講義
2	2	中嶋	性感染症 (クラミジア・梅毒等) 保健指導 子宮頸がん・子宮体がんの看護について	講義
3	2	中嶋	乳がんについて 月経周期の復古	講義
4	2	中嶋	卵巣がん 子宮筋腫について 女性生殖器の周手術期の看護	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅴ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 6時間	担当者 森 明広	
テーマと授業目標				
・感覚器疾患による障害を理解する・感覚器の障害がある患者への必要な援助を理解する ・他の疾患との関連性を理解し、身体的・精神的・社会的に多方面に必要な援助を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	歯・口腔の感がを学ぶにあたって 口腔症状のある患者の看護 口腔ケア	講義
2	2	森	耳鼻咽喉の看護を学ぶにあたって 耳鼻咽喉領域の患者の看護 摂食嚥下障害患者の看護	講義
3	2	森	目に障害のある患者の看護 皮膚疾患患者の看護 スキンケア”	講義
4	2			
5	2			
6	2			
7	2			
8	2			
9	2			
10	2			
11	2			
12	2			
13	2			
14	2			
15	2			
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ		医学書院		
成人看護学 ⑫皮膚 ⑬眼 ⑭耳鼻咽喉 ⑮歯・口腔				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 老年看護学総論	配当時期	担当者		
	1 年後期			
	単位数	藪本 喜代		
	1 単位			
	時間数			
	30時間			
テーマと授業目標				
1.加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について理解する				
2. さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活及び健康を支える看護について理解する				
3.高齢者を取り巻く社会制度および保健・医療・福祉の動向と諸問題を学び看護の役割を理解する				
4.多様な生活の場で、高齢者の健康を支える看護について理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	藪本	高齢者の理解 ・ 高齢者とは・ 高齢者の特徴と理解	講義
2	2	藪本	高齢者の理解 ・ 生活歴についてのグループワーク ・ 高齢者にとっての健康	講義 グループワーク
3	2	藪本	高齢者の健康状態のアセスメント 高齢者にとってのQOL	講義
4	2	藪本	高齢者の加齢に伴う変化	講義
5	2	藪本	高齢者を取り巻く社会 ・ 高齢者の生活と家族	講義
6	2	藪本	高齢者を取り巻く社会 ・ 高齢者を支える制度	講義
7	2	藪本	介護保険制度	講義
8	2	藪本	介護保険サービス内容について	講義
9	2	藪本	長期療養施設 在宅サービス及び看護	講義
10	2	藪本	高齢者看護の特性 高齢者看護の倫理	講義
11	2	藪本	高齢者のアセスメントの特徴	講義
12	2	藪本	高齢者のバイタルサイン特性	講義
13	2	藪本	高齢者によくみられる疾患 高齢者の健康づくり	講義
14	2	藪本	高齢者の生活を支える看護	講義
15	2	藪本	高齢者理解のための実習	講義・演習
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		教科書や資料などから、復習しましょう 教科書掲載の関連動画を視聴しましょう 社会で怒っている高齢者に関することにも関心を持ちましょう		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学①		メディカ出版		
高齢者の健康と障害				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他 (DVD)				

科目名(単元名) 老年臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者 栗原 美奈子	
テーマと授業目標 高齢者の身体的特徴、疾患を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	栗原	高齢化社会 倍加年数 高齢者の身体的特徴 (記憶力 五感 心肺機能) 呼吸 循環	講義
2	2	栗原	消化・腎泌尿器・性生殖 グループワーク 高齢者の特徴	講義
3	2	栗原	高齢者の特徴について各グループで発表	講義
4	2	栗原	貧血について(鉄欠乏性) 心不全について(NYHA分類)	講義
5	2	栗原	低アルブミンによる浮腫 浸透圧について 薬物動態 パーキンソン病	講義
6	2	栗原	パーキンソン病 知識確認問題	講義
7	2	栗原	慢性閉塞性肺疾患の特徴 認知症	講義
8	1	栗原	うつとせん妄の違い 知識確認問題	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		ノートに書き込む		
使用図書(テキスト) 図書名： 高齢者看護の実践			出版元	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 老年臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 26時間	担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標				
加齢に伴う心身機能の変化や老年期に特徴的な疾患・病態を理解 高齢者の健康障害について、アセスメント方法や看護技術を理解 高齢者にとって質の高い看護実践を説明できる 高齢者が最後まで尊厳を持った、その人らしい生活を支える看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	高齢者の生活を支える看護 食生活を支える看護 高齢者の食事の特徴 脱水	講義
2	2	俵内	嚥下障害 低栄養について	講義
3	2	俵内	低栄養について 排泄について (排尿障害)	講義
4	2	俵内	排泄について (排便障害) 清潔について	講義
5	2	俵内	清潔について 保湿剤塗布演習	講義・演習
6	2	俵内	活動と休息	講義
7	2	俵内	睡眠についての事例を考える 歩行・移動	講義
8	2	俵内	歩行・移動	講義
9	2	俵内	呼吸・循環器	講義
10	2	俵内	疾患を持つ高齢者の看護	講義
11	2	俵内	せん妄・手術療法	講義・演習
12	2	俵内	治療を受ける高齢者の看護 薬物療法・リハビリテーション	講義
13	2	俵内	診察・検査・入院・退院・行動制限・終末期の看護	講義
14				
15				
評価方法		筆記試験 (85点／100点)		
受講上の注意		・基礎看護技術や老年看護学総論、老年臨床看護論Ⅰで学んだ知識・技術を統合し、試行錯誤しながらよりよい援助を考えていきましょう ・		
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学① ナーシンググラフィカ 老年看護学②		メディカ出版		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 老年臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 4時間	担当者 木尾 恭子	
テーマと授業目標 ・認知症の病態・症状を理解し、それに応じた看護がわかる ・実践に活かせるよう認知症高齢者とのコミュニケーションの基本、サポートシステムの理解ができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	木尾	・ 認知症の病態と要因 ・ 認知症の症状理解とケア	講義
2	2	木尾	・ 認知症高齢者とのコミュニケーションの基本 ・ 認知症高齢者家族への支援とサポートシステム ・ 認知症高齢者の人権と権利擁護	講義
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (13点／100点)		
受講上の注意		・ 教科書に沿って講義を行います		
使用図書 (テキスト) 図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学① ナーシンググラフィカ 老年看護学②			出版元 メディカ出版	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(单元名) 老年看護学特論	配当時期	担当者		
	2年後期	森脇 真紀		
	単位数			
	1単位			
時間数	15時間			
テーマと授業目標				
・既習の学習内容を統合し、老年期における人々を全人的にとらえるために必要な情報収集の視点、アセスメントの進め方を理解する ・内容:全身麻酔の手術を受ける老年患者のパーパーシュミレーションを用いた看護過程の展開				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森脇	事例提示(大腸がん) 急性期における共同問題 個人ワーク	講義 個人ワーク
2	2	森脇	急性期における共同問題 個人ワーク	講義 個人ワーク
3	2	森脇	急性期における共同問題 個人ワーク	講義 個人ワーク
4	2	森脇	共同問題 (麻酔からの覚醒遅延・呼吸器合併症・循環器合併症)分析	講義 個人ワーク
5	2	森脇	共同問題 (術後出血・深部静脈血栓症・術後疼痛・術後せん妄)分析	講義 個人ワーク
6	2	森脇	共同問題 (縫合不全・腸閉塞・手術部位感染・ストーマ早期合併症)分析	講義 個人ワーク
7	2	森脇	看護問題について	講義・演習
8	1	森脇	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		・学習は計画的に進めていきましょう・学習に必要なテキストおよび参考書は各自で準備してください・課題レポートは提出期日を守ってください・科目の表kを受けるには、筆記試験及び技術試験の両方を受ける必要があります・技術点に関してはその技術点の60%を満たされるまで技術チェックを受ける必要があります		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 老年看護学概論		南江堂		
老年看護技術		南江堂		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 生活機能から見た老年看護過程		医学書院		
根拠と事故防止から見た老年看護技術		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名)		配当時期	2 年前期	担当者
小児看護学総論		単位数	1 単位	合田 友美
		時間数	30時間	
テーマと授業目標				
1.小児の健康問題や小児を取り巻く環境・社会・福祉の現状を捉え、小児看護の基本的な考え方を習得する				
2.健康障害のある小児とその家族の特徴を理解し、健康の回復保持、増進のための看護を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	合田	小児看護の特徴と概念/小児の成長発達	講義 グループ ディスカッション
2	2	合田	小児と家族を取り巻く環境と医療/小児と権利と小児看護	講義 グループ ディスカッション
3	2	合田	小児の成長・発達①：形態的成長・発達 機能的発達	講義 グループ ディスカッション
4	2	合田	小児の成長・発達②：形態的成長・発達 機能的発達	講義 グループ ディスカッション
5	2	合田	小児の成長・発達③：運動機能・感覚器の発達発達	講義 グループ ディスカッション
6	2	合田	小児の成長・発達④：小児の認知・社会性の発達	講義 グループ ディスカッション
7	2	合田	小児と家族を取り巻く社会	講義 グループ ディスカッション
8	2	合田	病気・障がいのある小児と家族の理解と看護	講義 グループ ディスカッション
9	2	合田	災害における小児と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
10	2	合田	入院中の小児と家族の看護 外来における小児と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
11	2	合田	症状のある小児とその家族の看護	講義 グループ ディスカッション
12	2	合田	手術を受ける小児と家族の看護 急性期にある小児と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
13	2	合田	慢性期にある子供とその家族の看護	講義 グループ ディスカッション
14	2	合田	終末期にある子供とその家族の看護	講義 グループ ディスカッション
15	2	合田	治療・検査・処置を受ける小児と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		・本講義では、グループディスカッション等、参加型の要素を取り入れています。そのためワークへの積極的な参加を期待 します		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座 小児看護学概論		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名：				
授業毎に紹介させていただきます				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他（		）		

科目名(単元名) 小児臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 時間数 30時間	担当者 松元 陽一	
テーマと授業目標 小児の身体的特徴、小児に起こりやすい健康障害とその病態生理・治療・検査を学び、看護過程展開に必要な知識を習得する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	3	松元	先天異常～新生児	講義
2	3	松元	新生児～内分泌（疾患）	講義
3	3	松元	内分泌～免疫（疾患）	講義
4	3	松元	免疫～感染症（疾患）	講義
5	3	松元	感染症（疾患）	講義
6	3	松元	感染症（疾患）	講義
7	3	松元	循環器（疾患）	講義
8	3	松元	消化器（疾患）	講義
9	3	松元	血液（疾患）	講義
10	3	松元	腎疾患	講義
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 別巻2 臨床外科看護各論			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 小児臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 16時間	担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標 ・先天異常についての疾患・病態を理解し、その成長・発達に合わせた看護について理解できる。 ・ハイリスク新生児となる因子・疾患・看護の理解ができる。 ・子供に多い事故・外傷についての予防や看護を理解できる。 ・小児の代表的な健康障害の経過・症状・治療および看護についての知識を習得し、小児と家族への健康回復・保持・増進のための看護を理解することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	子どもの事故・外傷と看護	講義
2	2	俵内	子どもの運動器疾患と看護	講義
3	2	俵内	子どもの感覚器疾患と看護	講義
4	2	俵内	子どもの先天異常と看護	講義
5	2	俵内	新生児の看護	講義
6	2	俵内	子どもの感染症	講義
7	2	俵内	子どもの神経疾患と看護	講義
8	2	俵内	子どもの精神疾患と看護	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(53点/100)		
受講上の注意		教科書を事前に読んで授業に臨みましょう 日頃から子供に関するニュースなどに関心を持ち、 子供をとりまく社会の理解につなげましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護総論・小児臨床看護各論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護		照林社		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 小児臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 14時間	担当者 西田 千夏	
テーマと授業目標 小児の代表的な健康障害の経過・症状・治療および看護についての知識を習得し、小児と家族への健康回復・保持・増進のための看護を理解することができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	西田	呼吸器系疾患の小児と家族の看護	講義
2	2	西田	免疫アレルギー系疾患の小児と家族の看護	講義
3	2	西田	循環器系疾患の小児と家族の看護	講義
4	2	西田	消化器系疾患の小児と家族の看護	講義
5	2	西田	代謝・内分泌系疾患の小児と家族の看護	講義
6	2	西田	腎・泌尿器系疾患の小児と家族の看護	講義
7	2	西田	血液・造血器疾患・悪性新生物の小児と家族の看護	講義
評価方法		筆記試験(47点/100)		
受講上の注意		小児看護学概論・総論の復習をして臨みましょう		
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護総論・小児臨床看護各論			医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 小児看護学特論		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標 ・健康障害のある小児の事例を通して、看護展開ができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	事例紹介・進め方・情報分類	講義
2	2	俵内	小児の特徴について	講義・演習
3	2	俵内	小児の疾患について	講義・演習
4	2	俵内	日常生活援助について	講義・演習
5	2	俵内	とりまくサポートについて 今後の方向性について	講義・演習
6	2	俵内	看護計画の立案・シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定	講義・演習
7	2	俵内	シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定実技 ・観察・環境	演習
8	1	俵内	シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定実技 ・観察・環境	演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		・授業のペースについていけるように、自己学習を進めること・各自必要な文献は持参すること・最終提出期限に提出できない場合、試験当日に欠席した場合は、どちらか1つでも追試験の対象になる・遅刻は、15分未満の場合のみ、記録提出・試験受験可能とする		
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論 解剖生理学 成人看護学③ 循環器			出版元 医学書院 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 母性看護学総論	配当時期 2 年前期		担当者 坂口 真紀子	
	単位数 1 単位			
	時間数 30時間			
テーマと授業目標				
・女性の健康についてライフサイクル「全体の中で考え、女性としての生き方を尊重し支えると共に、健康の保持増進と母性機能を円滑に遂行していくための母性看護の役割・機能について総合的に理解する。また、母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	坂口	・母性看護の主な概念と理論 ・母性・父性・親性について	講義
2	2	坂口	・母子関係と家族発達 理論 母子相互作用	講義
3	2	坂口	母性における倫理問題 グループワーク 母性看護における安全・事故防止	講義 グループワーク
4	2	坂口	・母性看護の歴史的変遷の現状 ・母性をとりまく環境・母子保健統計の動向	講義
5	2	坂口	・母性看護にかかわる法律 母子保健法 他	講義
6	2	坂口	・母性看護にかかわる施策 ・女性のライフサイクルにおける形態機能の変化	講義 グループワーク
7	2	坂口	グループワークの発表 母性をとりまく環境、現状と課題	講義 グループワーク
8	2	坂口	妊娠の成立 月経周期 性分化	講義
9	2	坂口	・母性看護における看護過程	講義
10	2	坂口	・女性のライフステージ各期における看護 思春期・性成熟期	講義
11	2	坂口	女性のライフステージ各期における看護 ・更年期・老年期 リプロダクティブヘルスケア 家族計画	講義
12	2	坂口	リプロダクティブヘルスケア グループワーク	講義 グループワーク
13	2	坂口	リプロダクティブヘルスケア グループワークまとめ	講義 グループワーク
14	2	坂口	・性感染症 人工妊娠中絶	講義
15	2	坂口	喫煙 DV 虐待 外国人妊婦 災害時の看護	講義
評価方法		筆記試験(100点) ただし、提出物が出ていない場合は減点になります		
受講上の注意		・テキストを忘れないようにしましょう・グループワークは積極的に参加しましょう・母性に関する社会の動向や課題に対して、テレビやインターネット、新聞などの記事などに関心を持ち、読んでおいてください		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（1）		医学書院		
母性看護学概論				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2）		医学書院		
母性看護学各論				
使用予定の視聴覚機器				
（パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他（ ）				

科目名(单元名) 母性臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8時間	担当者 勝田 真理	
テーマと授業目標 ・妊娠期の身体的・社会的変化を理解する ・妊娠と胎児の健康状態のアセスメントについて必要な情報を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	勝田	妊娠期における看護 ・ 妊婦体験 ・ ミラクルストーリー（DVD）	講義
2	2	勝田	胎児の発育とその生理 胎盤の構造・機能 胎児循環 母体の生理的变化	講義
3	2	勝田	妊娠期の心理・社会的特性 妊婦と胎児のアセスメント 妊婦と家族の看護	講義
4	2	勝田	演習 母体計測（腹囲、子宮底） レオポルド触診法、胎児の胎位・胎向	講義・演習
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（33点／100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト） 図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2） 母性看護学各論			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ （ ビデオ ） ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8 時間	担当者 片山 美保	
テーマと授業目標 1.分娩の経過に伴う身体変化お飛び心理・社会的変化が理解できる 2.産婦の看護についてアセスメントでき、その援助が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	片山	分娩の3要素とその機序	講義
2	2	片山	分娩第1期の看護（充足されるべきニード）	講義
3	2	片山	分娩第1期の看護 具体的ケアを考える （第2期・第3期のケア）各期の看護ケアについて考える	講義
4	2	片山	分娩期の看護（グループワーク） 充足されるべきニード	講義 グループワーク
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（33点/100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト） 図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2） 母性看護学各論			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ 骨盤模型・胎児人形 ）				

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅰ	配当時期	担当者		
	2 年前期			
	単位数	坂口 真紀子		
	1 単位 (30時間)			
時間数	14 時間			
テーマと授業目標				
1.褥婦・新生児の生理的変化を理解する 2.褥婦のセルフケア能力が維持・増進できる看護援助について理解できる 3.褥婦・新生児とその家族に対する援助が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂口	産褥経過と褥婦の健康状態アセスメント 全身の変化・退行性変化	講義
2	2	坂口	進行性変化 褥婦のセルフケアと生活	講義
3	2	坂口	褥婦の心理・社会的変化 母への適応過程 育児技術 家族関係再構築への看護	講義
4	2	坂口	育児技術 育児支援 退院支援 (DVD)	講義
5	2	坂口	新生児の生理・身体的特徴・生理的変化 新生児の生理 (DVD)	講義
6	2	坂口	新生児の健康状態のアセスメント	講義
7	2	坂口	新生児の看護、観察 栄養、保清、保育環境、退院後の看護、事故防止、安全	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		テキストを忘れないようにしましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2)				
母性看護学各論		医学書院		
母性看護技術		メジカルフレンド社		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
母性看護学Ⅰ 妊娠・分娩		医歯薬出版株式会社		
母性看護学Ⅰ 産褥・新生児		医歯薬出版株式会社		
ウェルネスから見た母性看護過程		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 10時間	担当者 中西 健太郎	
テーマと授業目標 妊娠、分娩、産褥、新生児の正常異常を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中西	ハイリスク妊娠(母子感染症)	講義
2	2	中西	ハイリスク妊娠②(母子感染症、妊娠中の糖代謝異常)	講義
3	2	中西	ハイリスク妊娠②の続き(HDP) 妊娠持続期間の異常	講義
4	2	中西	妊娠持続期間の異常 胎児付属物の異常	講義
5	2	中西	産道の異常、陣痛・胎位・胎向の異常 ・不妊症・遺伝相談(カウンセリング)	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(33点/100点)		
受講上の注意		テキストを忘れないようにしましょう		
使用図書(テキスト) 図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2) 母性看護学各論			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 病気が見える 産科			出版元 医学情報科学研究所	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(プリント)				

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅱ		配当時期	担当者	
		2年後期	坂口 真紀子	
		単位数		
		1単位(30時間)		
		時間数		
		20時間		
テーマと授業目標				
・母性看護学総論・母性臨床看護論で学習した知識を基礎と死周産期(妊娠・分娩・産褥・新生児)の異常に焦点を当て、母子および家族に必要な看護を学ぶ				
・不妊治療を受ける女性の心理・社会的特徴を理解し不妊治療への看護の理解を深める				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂口	妊娠期の異常と看護 ハイリスク妊婦の看護、合併症を有する妊婦の看護	講義
2	2	坂口	妊娠期の異常と看護 (切迫流産・妊娠糖尿病・妊娠高血圧・感染症)	講義
3	2	坂口	分娩期の異常と看護(感染症、多胎) 分娩経過の逸脱と看護 産道の異常	講義
4	2	坂口	娩出力、胎児の異常、付属物の異常 異常出血 分娩誘発・処置の看護	講義
5	2	坂口	胎児機能不全 徐脈 分娩遷延・破水時の看護	講義
6	2	坂口	新生児の異常と看護 分娩時の異常出血と看護	講義
7	2	坂口	新生児の異常と看護 仮死、外傷、低出生体重、高ビリルビン血症児の看護、	講義
8	2	坂口	産褥の異常と看護 産褥熱・子宮復古不全、感染症、乳房トラブルを中心に	講義
9	2	坂口	産褥期の異常と看護 産褥精神障害 周産期におけるグリーフケア	講義
10	2	坂口	不妊治療を受ける患者の看護 まとめ	講義
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(67点/100点)		
受講上の注意		テキスト・資料を忘れないようにしましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2)				
母性看護学各論		医学書院		
母性看護技術		メジカルフレンド社		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
病気が見える 第2版 産科		医学情報科学研究所		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 母性看護学特論	配当時期	2 年後期		担当者 坂口 真紀子
	単位数	1 単位		
	時間数	15時間		
テーマと授業目標				
女性ライフサイクルで特に母性機能の活発な時期の女性を、一例ペーパーシュミレーションにて展開し、母性実習の看護の展開に役立てる 事例を通して、対象とその家族への基本的な援助ができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	坂口	母性看護の看護過程（ウエルネスの考え方）事例紹介 妊娠～分娩期の情報と分析のポイント	講義
2	2	坂口	産褥期・新生児の情報と分析ポイント 分析	講義・演習
3	2	坂口	事例分析	講義・演習
4	2	坂口	事例の発表 グループワーク	講義 グループワーク
5	2	坂口	沐浴演習 調乳	講義・演習
6	2	坂口	事例全体の発表とまとめ	講義
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		わからないことはどんどん聞いてください。演習はユニフォームをきちんと着用して身だしなみを整えてください。提出用にA4の紙ファイルを用意してください。今までに母性で使用了資料をすべて持ってきてください。母性看護学実習の事前学習課題の提出もあります		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2）				
母性看護学概論 母性看護学各論		医学書院		
母性看護技術		メジカルフレンド社		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
母性看護学Ⅰ 妊娠・分娩		医歯薬出版株式会社		
母性看護学Ⅰ 産褥・新生児		医歯薬出版株式会社		
ウエルネスから見た母性看護過程		医学書院		
ウエルネス看護診断に基づく母性看護過程		医歯薬出版株式会社		
使用予定の視聴覚機器				
（ パワーポイント ） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他（ ）				

科目名(単元名) 精神看護学総論	配当時期 2 年前期		担当者 坂東 正巳	
	単位数 1 単位			
	時間数 15時間			
テーマと授業目標 1.精神看護学の基本的な考え方、精神看護の視点や態度をまなぶ 2.精神科医療の世界的な動向と日本の現状を理解する 3.心を病んだ人々への精神医療と看護の変遷を理解できる 4.精神障害者の看護に必要な法制度を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	坂東	第1章 精神看護学とは 精神と環境、正常・異常とは	講義
2	2	坂東	心の構造 精神的健康とは 精神力動的視点	講義
3	2	坂東	心の構造の続き ストレスの影響 防衛機制	講義
4	2	坂東	精神障害と治療の歴史 日本と諸外国との比較	講義
5	2	坂東	精神障害と法制度 入院形態・心神喪失・心神耗弱	講義
6	3	坂東	精神保健福祉制度 （隔離・拘束・行動制限） 患者看護師関係	講義
7	2	坂東	精神障害と社会学 自殺について、現状、対策	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		精神障害についての理解を深め、精神障害を持つ対象者の看護について考えていきましょう		
使用図書（テキスト） 図書名：精神看護学① 精神看護の基礎		出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器				

科目名(単元名) 精神保健論		配当時期	担当者	
		2 年前期	深井 博文	
		単位数		
		1 単位		
時間数	3 0 時間			
テーマと授業目標				
・精神保健とは、精神の保健に関する学問であり、その精神的健康を維持・向上させる実践活動である。社会的・心理的ストレスにさらされ、不適応状態を起こすことが多い現代社会において精神的問題を学ぶことは不可欠のことである。				
また発達課題上の問題から職場、学校、過程、地域などの生活の場を通して精神的危機の実際、災害精神保険活動などを理解し実践できるようにすることが必要である				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	深井	フロイトの発達理論（局所論・構造論） 防衛機制・小児の発達	講義
2	2	深井	ユング（集合的無意識・転移・逆転移） エリクソン（心理社会的発達論）	講義
3	2	深井	ピアジェ発達心理学 セクシュアリティと精神保健	講義
4	2	深井	「レジリエンス」を知っていますか ストレスをスルー出来る心の強さ	講義
5	2	深井	心が壊れている人に見られる顔つきや特徴 心が壊れる5つの前兆	講義
6	2	深井	生活の場とクライシス 家庭における危機	講義
7	2	深井	学校における危機	講義
8	2	深井	職場における危機	講義
9	2	深井	地域における危機 医療現場における危機	講義
10	2	深井	リエゾン精神看護①	講義
11	2	深井	リエゾン精神看護② 「がんサバイバー」（緩和ケア）	講義
12	2	深井	「がんサバイバー」（ホスピス・緩和ケア）	講義
13	2	深井	災害後の精神保健活動	講義
14	2	深井	災害後の精神保健活動 依存症（アディクション）	講義
15	2	深井	依存症（アディクション） アルコール ギャンブル	講義
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		授業中の私語、携帯電話、スマホの操作、内職は厳禁とする		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：太田 保之ほか編著 精神保健		医歯薬出版		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
（パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他（ ）				

科目名(单元名) 精神臨床看護論		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 3 0 時間	担当者 小牟田 淑子	
テーマと授業目標 1.精神看護の目的・機能および患者と看護師関係を理解する 2.精神に障害のある対象者の援助と暮らしの拡大と家族の援助について理解する 3.精神疾患と症状から看護介入を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	小牟田	精神障害者の理解と看護の基本 ケアの前提・原則・方法	講義
2	2	小牟田	患者看護師関係・プロセスレコードの書き方 ・患者とのかかわりから事故を理解する	講義
3	2	小牟田	対象の場面と医療の場 患者の行動や反応から患者を理解し看護を深める	講義
4	2	小牟田	回復の意味 回復のビジョンやプログラムを知り、援助を見出す	講義
5	2	小牟田	入院治療の目的と意味 患者家族にとって入院の影響・目的を知り、看護を見出す	講義
6	2	小牟田	治療的環境を作る 患者を取り巻く環境より看護介入する	講義
7	2	小牟田	地域におけるケアと支援	講義
8	2	小牟田	学校や職場におけるメンタルヘルス	講義
9	2	小牟田	精神科における身体ケア	
10	2	小牟田	精神科治療に伴う身体ケア	
11	2	小牟田	身体合併症のアセスメントとケア	
12	2	小牟田	精神科看護の実際	
13	2	小牟田	安全を守る	
14	2	小牟田	自殺、暴力・無断離院についての対処	
15	2	小牟田	災害時のメンタルヘルス	
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		教科書・資料プリントに沿って講義をします		
使用図書（テキスト） 図書名：精神看護学② 精神看護の展開 精神科看護の知識と実際			出版元 医学書院 メディカ出版	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(单元名) 精神看護学特論	配当時期	担当者		
	2 年後期	小牟田 淑子		
	単位数			
	1 単位			
時間数				
15時間				
テーマと授業目標				
精神障害を持つ人の基本的な看護が理解できる				
1.精神に障害のあるペーパーペイシエントの看護過程が展開できる				
2.被毒妄想のある模擬患者に与薬ができる				
3.5模擬患者に対して実施した看護の振り返りができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	小牟田	看護過程について ゴードンの11領域について EMSビデオ（妄想について）	講義
2	2	小牟田	情報の整理 情報の視覚化（主観的・客観的データ）	講義
3	2	小牟田	情報のアセスメントと明確化	講義
4	2	小牟田	ペーパーペイシエントのロールプレイ振り返り 看護計画立案（分析）	講義
5	2	小牟田	ペーパーペイシエントのロールプレイ振り返り 看護計画立案（分析）	講義
6	2	小牟田	看護計画立案立案 分析・計画	演習
7	3	小牟田	看護計画立案立案 発表	演習
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		自己の看護過程展開が主体になってきます 事例検討用のA4ファイルを用意してください		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学①		医学書院		
精神看護の基礎				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
精神科看護の知識と実際		メディカ出版		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ (ビデオ) ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ				
その他 ()				

科目名(単元名) 感染看護論	配当時期 2 年後期		担当者 藤本 憲明	
	単位数	1 単位		
	時間数	15時間		
テーマと授業目標 看護における重要な感染予防対策 目標 看護業務における感染予防対策や法律に関する知識を習得できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	藤本	標準予防策	講義
2	2	藤本	感染経路別予防策	講義
3	2	藤本	微生物・抗菌薬の復習 洗浄・消毒・滅菌について	講義
4	2	藤本	予防接種法・学校安全保健法・感染症法 廃棄物処理法	講義
5	2	藤本	職業感染対策 感染症別感染対策	講義
6	2	藤本	感染症別感染対策	講義
7	2	藤本	感染症別感染対策 結核 かいせん HIV 性病 肝炎ウイルス	講義
8	1	藤本	医療関連感染症対策	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト） 図書名：国民衛生の動向 出版元 厚生労働統計評価 参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名： 出版元 診断と治療社 看護学生・新人のための看護ケアに活かす感染対策ガイド第2版 微生物・薬理学の教科書 使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(单元名) 災害看護論	配当時期 2 年後期		担当者 山上 富子	
	単位数 1 単位			
	時間数 15時間			
テーマと授業目標 災害の種類と被害、疾患の特徴などの基礎知識を理解する 災害サイクルの各期における具体的な看護活動を理解する 災害時のストレスについて理解する 被災地での看護活動について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	山上	災害医療の基礎知識 （災害の定義、災害の種類と健康障害 災害医療の特徴）	講義
2	2	山上	被害者特性に応じた災害看護の展開	講義
3	2	山上	災害医療に関する法律と施策 CSCATTTについて 発災直後の病棟看護師の情報収集とアセスメントについて	講義
4	2	山上	トリアージ（1次トリアージ 2次トリアージ）について トリアージタグ	講義
5	2	山上	発災時のゾーニング 外傷の応急処置	講義
6	2	山上	三角巾法 亜急性期について	講義
7	2	山上	看護（亜急性期） 心のケア	講義
8	1	山上	災害と心のケア	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法			筆記試験（100点）	
受講上の注意			テキストでの事前学習	
使用図書（テキスト） 図書名：災害看護学・国際看護学				
出版元 医学書院				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名：				
出版元				
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 看護管理論	配当時期 3 年前期		担当者 遠田 友利	
	単位数 1 単位			
	時間数 15時間			
テーマと授業目標 チーム・組織の一員として活動する看護職に必須である「マネジメント」は看護の質を保ち看護の提供することができることを知る。 学習目標 1.看護管理の考え方、捉え方が理解できる 2.組織マネジメント、キャリアマネジメント、ケアマネジメント、サービスマネジメントについて理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	遠田	看護管理概論 看護管理学とは、看護におけるマネジメントの考え方の変遷	講義
2	2	遠田	マネジメントに必要な知識 マネジメントとは、組織	講義
3	2	遠田	組織管理の視点での医療安全 チーム医療 安全管理	講義
4	2	遠田	日常業務のマネジメント チーム医療 業務のマネジメント	講義
5	2	遠田	日常業務のマネジメント 優先順位 多重課題における業務アセスメント	講義
6	2	遠田	看護サービスマネジメント1 看護組織のマネジメント 看護ケア提供システム 人材マネジメント	講義
7	2	遠田	看護サービスマネジメント2 物品、施設、情報のマネジメント サービス評価 マネジメントに必要な知識と技術	講義
8	1	遠田	看護職のキャリアマネジメント キャリア形成と専門職としての在り方	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験 授業参加度		
受講上の注意				
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座 看護管理		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名：				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他（ DVD ）				

科目名(単元名) 看護研究 (研究概説)		配当時期 3 年前期 単位数 1 単位 (30時間中) 時間数 20時間	担当者 板東 正巳	
テーマと授業目標 看護研究の意義を理解し、看護研究を科学的・系統的に行う方法の基礎を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	板東	オリエンテーション 看護研究とは	講義
2	2	板東	研究のプロセスとリサーチクエスチョン①	講義
3	2	板東	文献レビュー①	講義
4	2	板東	文献レビュー②	講義
5	2	板東	リサーチクエスチョン②	講義
6	2	板東	研究の種類と特徴	講義
7	2	板東	研究デザインと分析①	講義
8	2	板東	研究デザインと分析②	講義
9	2	板東	研究における倫理的配慮	講義
10	2	板東	研究計画書の書き方	講義
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		課題30% 終講試験70% (45点配点)		
科目アピールポイント		研究は疑問を持つことから始まります。一緒に疑問を解決する方法を考えていきましょう。疑問に向き合うためには、主体的な行動が必要です。授業も主体的に参加しましょう。		
使用図書(テキスト) 図書名: 別巻 看護研究		出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名:		出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (書画カメラ				

科目名(単元名) 看護研究		配当時期 3年後期 単位数 1単位(30時間中) 時間数 10時間	担当者 深井 博文	
テーマと授業目標 1.実習における看護実践を振り返り文章化できる 2.理論家が述べる看護について学習し、要旨を文章化できる 3.自分の看護実践と、まとめた看護理論の要旨についてを統合し看護観作成ができる。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	深井	オリエンテーション 著名な理論家のメタパラダイム(環境 人間 健康 看護)について知る	講義 演習
2	2	深井	看護理論への理解を深め、自分の考えている 看護について根拠を深める	講義 演習
3	2	深井	看護をまとめる (パソコンを用いて実習資料からのフォーマット用紙への入力)	演習
4	2	深井	看護をまとめる (私の考える看護 小論文作成)	演習
5	2	深井	看護をまとめる (私の考える看護 小論文作成)	演習
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		レポート 46点		
受講上の注意		夏以降、既修得実習ファイルを用意してもらいますが学校管理となります 自己の論文作成が主体になってきます。経過はUSBに保存します(安価なもので可) 各自でUSBを用意のこと。事例検討用のA4ファイルを用意してください。 (紙製2つ穴ファイルを準備してください) 図書室とパソコン室で行います。45分間でパソコン順番を交代してください		
使用図書(テキスト) 図書名: 川村佐和子編 ナースングラフィカ基礎看護学④看護研究		出版元 メディカ出版		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: 文献レビューの基本 図書名: 看護理論家とその業績		出版元 医歯薬出版株式会社 医学書院		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 臨床看護の実践Ⅰ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	小牟田 淑子 俵内 晃子 坂口 真紀子 藪本 喜代	
テーマと授業目標 1. 原理原則を踏まえつつ、状況や場を考慮し、対象者に応じた看護技術を安全・安楽に実践できる 2) 対象者の状況から速やかにアセスメントし、その状況に応じた看護援助を見出すことができる 2) 対象者の状況を速やかにアセスメントし、対象者の安全を守る看護援助を実践することができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	事例患者(術後第一歩行)に添った計画立案	講義・演習
2	2	俵内	第一歩行の実施	講義・演習
3	1	俵内	デモスト	演習
4	2	小牟田	精神障害のある対象の環境とコミュニケーションについての援助を学ぶ	講義
5	2	小牟田	抗精神病薬の有害反応についての観察と情報収集について学ぶ	講義
6	1	小牟田	技術試験のオリエンテーション	演習
7	2	俵内	サークルベッドの環境について 採尿・バイタルサイン測定・シーネ固定・バギー	演習
8	2	俵内	演習後のリフレクション 計画の修正	講義・演習
9	1	俵内	計画立案・実践についてのデモンストレーション	講義・演習
10	2	坂口	事例紹介 新生児の観察 アセスメントの視点 計画立案	講義
11	3	坂口	褥婦の看護 新生児の看護 (進行性変化、対向性変化、育児技術)	講義・演習
12	2	藪本	在宅看護実習室で、居宅を想定したセッティングで入室方法や コミュニケーション、バイタルサインを行うための演習	講義・演習
13	2	藪本	在宅看護実習室で 対象者のトイレ誘導の演習	講義・演習
14	1	藪本	技術試験についての説明	講義
15	5	藪本	技術試験	試験
評価方法		技術試験(80点)筆記試験(20点)		
受講上の注意 ・これまでの既習の知識として解剖生理学・病態生理・検査・治療を統合できるようにする ・その場の状況を予測し、対象者に必要な看護を主体的に学ぶ ・実践後のリフレクションによって、課題を見出し、次の計画を考え実践できるようにする ・シミュレーションなどでは、実際の場面を想定しながら取り組むように ・グループワークなどを行う場合、お互いに協力し意見を尊重しましょう				
使用図書(テキスト) 図書名： 臨床看護総論 解剖生理学 病理学 各系統別看護テキスト 看護学概論 基礎看護技術			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名： 目で見える体のメカニズム			出版元 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ その他()				

科目名(単元名) 臨床看護の実践Ⅱ	配当時期 3年前期		担当者 小林 幸路 大嶋 沙佑美	
	単位数 1 単位			
	時間数 30時間			
テーマと授業目標 1.多重の情報から状況を推察・推論し、臨床判断能力を養う。 1)夜間実習の演習 2)日勤帯での複数受け持ち、チームナーシングの演習 1)2)を通して、患者の状況や場を観察し、 ①多角的にアセスメントする。②アセスメント内容を実践し、内容をもとに振り返る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林 大嶋	ガイダンス	講義
2	2	小林 大嶋	対象理解・学習内容の発表 1	講義 グループワーク
3	2	小林 大嶋	対象理解・学習内容の発表 2	講義 グループワーク
4	2	小林 大嶋	対象理解・学習内容の発表 3	講義 グループワーク
5	2	小林 大嶋	対象理解・学習内容の発表 4	講義 グループワーク
6	2	小林 大嶋	チームで検討 1	グループ ワーク
7	2	小林 大嶋	チームで検討 2	グループ ワーク
8	2	小林 大嶋	チームで検討 3	グループ ワーク
9	2	小林 大嶋	日勤帯 複数受け持ち及びチームナーシング 1	講義・演習
10	2	小林 大嶋	日勤帯 複数受け持ち及びチームナーシング 2	講義・演習
11	2	小林 大嶋	リフレクション	講義・演習
12	2	小林 大嶋	夜間演習に向けて チームディスカッション	グループ ワーク
13	2	小林 大嶋	夜間帯 複数受け持ち及びチームナーシング	講義・演習
14	2	小林 大嶋	夜間帯 複数受け持ち及びチームナーシング	講義・演習
15	2	小林 大嶋	リフレクション	講義・演習
評価方法		課題評価		
受講上の注意		1.A4サイズの紙ファイルを準備してください 2.課題学習が多くなりますので、提示された課題は必ず学習してください 3.提示されている課題の提出期限を守ってください 遅れた場合は、減点となります 4.実習につなげられるように、わからないことは積極的に質問して学びましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 1.系統別看護学講座 専門 看護管理		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名:				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				